

## 第1年次A組 現代社会 学習指導案

平成29年12月12日（火） 第4校時  
1年次A組 20名（男子8名 女子12名）

### 1 題材 消費者問題

#### 2 題材について

##### (1) 題材観

消費活動が活発になるにつれて、様々な消費者問題が発生している。問題解決のために法律や行政機関が新設されたが、時代が進むにつれて消費者問題の内容も大きく変化している。過去の問題を教訓にどのように賢い消費者として、問題に取り組んでいくかをテーマに授業を行っていく。

##### (2) 本校の課題と生徒観

本校は通信制の学校であり、授業日数が限られている。そのため授業は最低限の学習内容にとどめ、自宅学習で生徒自身が補っているのが現状である。1年次生は中学校段階の時点で、不登校の生徒が多く、高等学校で本格的に学習を再開した生徒が多い。またアルバイトをしている生徒も多く、同年代の生徒に比べ十分な知識がない状況で、経済活動を担っている様子がうかがえる。公民科の目標である「広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせる」ことができるよう、生徒自身の問題として問題提起をしていき、生徒自身の考えが構築できるようにする。

### 3 本時の学習指導

#### (1) ねらい

- ① 消費者問題の問題点について理解する。
- ② 消費者問題・運動のあゆみを理解する。
- ③ 消費者問題を防ぐ方法について考える。

(2) 指導過程

	指導内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入 5分	○ひろがる消費者問題 「信用」に着目し、消費者と取引相手の関係性について考えさせる。	・教科書の該当部分から内容を抜き出し、内容の意味を理解する。	・学級全員が理解したか確認する。
展開 40分	○消費者問題 ・消費者行政について説明。  ○サリドマイド事件 ・事件の概要を説明し、考えをまとめる。  ○事件を防ぐためには ・生徒同士の議論で考えを深める。	・消費者問題に関する法律や行政の動きについて理解する。  ・サリドマイド事件について学習したことをもとに、これからの社会はどのように取り組めばよいか考える。  ・自身の考えを生徒同士で、話し合い、他者の考えを取り入れて考えを深める。	・教科書の該当部分を提示し、内容をまとめさせる。  ・授業から日数が経過しているため、学習内容の復習を行う。  ・全員が議論に参加しているか机間巡視を行う。
まとめ 5分	○契約の権利と責任 ・契約の自由と責任の関係性について考えさせる。	・身近な生活における自由と責任について考えさせる。	・教科書の該当部分を読んで、内容を理解させる。